

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 10	中期総合計画主要施策番号		3-05	担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課	
事業名		自閉症・発達障害支援事業					内線	2643	
							E-mail	kenko@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・発達障害児者の乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応した一貫した支援を行い、発達障害児者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		・平成17年4月に発達障害者支援法が施行されたが、現状では発達障害者の各ライフステージに応じた一貫した支援体制が整備されていない。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	事業内容	・発達障害に携わる人的資源が不足している。							
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
実施期間	H16 ~		根拠法令等		発達障害者支援法				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・発達障害児者の各ライフステージに対応した一貫した支援の実施により、発達障害児者の円滑な社会生活の実現を図る。		・発達障害児者及びその家族からの相談及び発達支援を実施する。 ・市町村等関係機関に対する技術や知識の普及啓発のための研修会等を概ね前年並みに開催する。 ・市町村における発達障害児の早期の発見・支援に向けたガイドブックを作成し配付する。			・発達障害児者等の相談支援を延べ1,465件(実人員244人)実施し、発達障害児への支援を推進した。 ・発達障害児の支援に関わる者への研修会を93回開催(参加者2,332人)し、人材養成を進めた。 ・発達障害者支援体制整備検討委員会を開催し、「発達障害の早期発達支援ガイドブック」を作成し市町村に配付した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	11,809	6,763	6,249	国庫・県庫	国庫・県庫	
	決 算 額 (B)		千円	10,959	5,752		実施方法	直接、補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	4,919	3,440	3,217	歳出節別内訳等	報酬	2,222
	概 算 人件費	従事する職員数	人	5.50	5.50	5.50		報償費	70
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	50,229	45,072	45,569	(単位: 千円)	旅費	318
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	発達障害児への相談・支援		延べ件数	1,903	1,465	1,500	「発達障害の早期発達支援ガイドブック」の作成 250冊		
	研修会の開催		回	100	93	100			
	発達障害者支援体制整備検討委員会		回	1	1	1			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	それぞれの市町村が発達障害者の一生涯一貫した支援を実施するため、「発達障害の早期発達支援ガイドブック」を活用した研修を開催し、より一層発達障害への支援体制の充実を図っていく。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		乳幼児期から成人期までの各ライフステージに応じた一貫した支援体制を構築するため、以下に重点を置いて取り組んでいく。 センターにおける専門的支援の充実及び身近な地域で相談や支援ができる人材の養成 市町村における早期発達支援体制の整備 就労支援						